

## JRC2024 に参加して

今回の JRC2024 は金曜・土曜のスポット参戦でしたが、いま振り返ってみると幾つかのキーワードを思い浮かべることができます。

そのなかでも、“DLR”、“タスクベース”、“黄色くて泡が出ていて飲むとフワフワした幸せな気分になる不思議な飲み物”の三項目について述べたいと思います。

DLR は Deep Learning Reconstruction の略で、Deep Learning（深層学習）を用いて設計した画像再構成技術をさします。キャノンの CT では、Advanced intelligent Clear-IQ Engine (AiCE) や Precise IQ Engine (PIQE) という名で商品化され広く活用されています。DLR はこれまでの再構成法と比較して、格段に画質の向上が図られています。当院でも多くの部位で AiCE を用いており、手放すことの出来ないツールとなっています。

CT とは関係ないのですが、ITEM のキャノンブースで MRI に DLR を用いた画像を見せていただきました。恥ずかしながら初めて拝見させていただいたのですが、その美しさに大変感動しました。MRI の場合、画質を向上させる方向と、撮像時間を短くする方向の両面で考えることができ、その活用方法は CT よりも広いのではと思いました。

ただし DLR や逐次近似再構成などは非線形画像であり、従来の画質評価方法では十分にその特性を評価できず、臨床画像評価との乖離が指摘されています。従ってタスク（臨床画像の目標）を設定しての画質評価をする必要性が生じます。

CT 領域では 10 年ほど前から、そのことが指摘されタスクベースでの画像評価方法が考案されてきました。今回の JRC では“画質評価におけるタスクベースへの基本と課題”と題したシンポジウムが開催され、その中では一般撮影においてもタスクベースによる画質評価が始められたことが述べられていました。これからは、様々な場面でタスクを意識した撮像条件の構築を考えていかなければならないと感じました。

さて夜の JRC です。

たくさん勉強をすると脳がいつも以上にエネルギーを消費するので

しょう。普段よりお腹が減ったり、喉が渇いたりします。なので、後輩君たちと中国的な飲食店が立ち並ぶ地区に行ったりします。

まずは、黄色くて泡が出ていて飲むとフワフワした幸せな気分になる不思議な飲み物を注文して飲み干します。とっても幸せな気分になります。

料理は、白くて柔らかい固まりに赤くてとろみがついたあんを絡ませた食べると舌や唇がピリピリしびれる不思議な食べ物を注文します。

白くて柔らかい固まりに赤くてとろみがついたあんを絡ませた食べると舌や唇がピリピリしびれる不思議な食べ物を食べると、なぜか黄色くて泡が出ていて飲むとフワフワした幸せな気分になる不思議な飲み物を飲みたくなります。そして黄色くて泡が出ていて飲むとフワフワした幸せな気分になる不思議な飲み物を飲むと、またしても白くて柔らかい固まりに赤くてとろみがついたあんを絡ませた食べると舌や唇がピリピリしびれる不思議な食べ物が食べたくなります。

そしてここに、黄色くて泡が出ていて飲むとフワフワした幸せな気分になる不思議な飲み物と白くて柔らかい固まりに赤くてとろみがついたあんを絡ませた食べると舌や唇がピリピリしびれる不思議な食べ物の無限ループが完成して **JRC** の夜は更けていくのであります。

帰札してから調べたところ、黄色くて泡が出ていて飲むとフワフワした幸せな気分になる不思議な飲み物は“ビール”、白くて柔らかい固まりに赤くてとろみがついたあんを絡ませた食べると舌や唇がピリピリしびれる不思議な食べ物は“麻婆豆腐”と言うそうです。ひとつ賢くなりました。やっぱり **JRC** は勉強になります。

皆様も **JRC** に参加して大いに勉強し、夜は無限ループを堪能してみたいかがでしょうか。

デコ山